

# JICPA本部 CPE ONLINE e-Learning研修会 リリースの報告 「Afterコロナを見据えた働き方改革とダイバーシティ推進のしくみ ～CPA業界のワーク・ライフ・バランスを進化させるために～」

ダイバーシティ推進委員会 委員長 原 繭子

この度、ダイバーシティ推進委員会が企画した研修会が、JICPA本部CPE ONLINEのe-Learning研修会として収録、リリースされたことをご報告いたします。

この研修会は、女性会計士活躍促進協議会主催研修カリキュラムの一環として行われたため、近畿会の研修会掲示板や近畿C.P.A.ニュースの研修会案内ページでのお知らせができていませんでした。この場をお借りして、ご紹介いたします。

## 研修会の概要

1. タイトル 「Afterコロナを見据えた働き方改革とダイバーシティ推進のしくみ  
～CPA業界のワーク・ライフ・バランスを進化させるために～」

### 2. 目的と内容

#### ■研修概要：

新型コロナの感染拡大・緊急事態宣言により、生活や働き方の形が大きく変化した。

Afterコロナの時代を見据えて、これからのダイバーシティ&インクルージョンはどのような仕組みで進んでいくのか。また当業界はどのように変化していくのか。ダイバーシティ研究者による解説と、近畿会ダイバーシティ推進委員会が継続的に取り組む会員向けワーク・ライフ・バランス意識調査から考察する。

#### ■構成：

第1部 関口教授による基調講演

第2部 関口教授とダイバーシティ推進委員会メンバーとのディスカッション

3. 講師 関口 倫紀 京都大学経営大学院教授  
小野寺和子 近畿会ダイバーシティ推進委員会副委員長  
原 繭子 近畿会ダイバーシティ推進委員会委員長

4. CPE単位 2単位 (CPEコード その他：組織環境 6999)

5. 教材コード E060790

## 企画から撮影・CPE ONLINE リリースまで、企画者による裏話

実は当該研修会を行う話は2018年から存在しており、2020年度に（やっと）実現しました。全国研究大会での発表をバージョンアップさ

せた研修にするという目標にどう対応すべきか考えていたところ、世界的なコロナウイルス感染拡大が起こり、世の中がどんどん在宅勤務やオ

ンラインで仕事を進めるといった、新しい働き方や生活様式が世界中で急激に進んでいきました。これは、研修会を企画した2018年には想定も

していなかった、大きな出来事です。私自身もこの状況に直面する一人として、自宅で一人で仕事の繰り返しの日々に試行錯誤していましたが、その一方で、今後の組織マネジメントには今まで以上に一人一人の特性や置かれた状況を理解し対応することが必要になると、日に日に強く感じていました。

そんな頃、ダイバーシティマネジメントの研究者である関口教授から、①産業革命以前に遡って、近代の時代背景の変化と企業における働き方や組織マネジメントの傾向の移り変わりのありさま、そして②ダイバーシティの学術面から考察した、今後の働き方や組織マネジメントのあり方をお聞きしたところ、事業会社、監査法人、地方自治体、そして個人事業主という、異なる立場で働いてきた私にとって、共感ポイントがたくさんありました。また、③働く人間ひとりひとりの個性ある能力をそれぞれ発揮している状態をつくり出す活動、すなわち「ダイバーシティ&インクルージョン」が実現できるかどうかで組織の成果が変わってくる、そのキーワードの一つに「公平性=フェアネス (fairness)」があるというご見解については、これから仕事も生活もしっかり楽しみたい一人として気持ちが奮い立ちました。

ぜひこの内容を会員の皆さんにご紹介したいと思い、関口教授に基調講演をお願いしました。

そしてその基調講演を受けて、コロナ禍の今、今後CPA業界での働き方及び組織マネジメントをどのように変化させていくかについて、関

口教授と当委員会の意見交換をディスカッション形式で行うことにし、この中で、当委員会が実施した「ワーク・ライフ・バランスとキャリアのアンケート調査」の考察をご紹介します。

収録に先立ち登壇者3名で打ち合わせした時に、「第2部ではアドリブ入れましょう」という関口教授のご提案をいただいた瞬間は今も忘れられません。ここでいうアドリブとは、話す内容を全て予め決めておくよりも、当日一人一人が議論の展開にあわせて臨機応変に発言する、それにより話に臨場感が生まれて、新しい発見につながる、という意味です。私は「その方がいいですね!」と即座にお答えしたのですが、その一方で・・・進行役である私には、時間通りに終わらせるファシリの發揮に加え自分も議論に入ってアドリブで発言するという、複数かつ多様なダイバーシティな課題もいただく結果になり、ヒヤヒヤしながら収録に臨むことになりました。

収録は2020年8月、市ヶ谷の本部にて。現場に行くと「一発撮りでお願いします」と言われました。多少言い間違いをしてもそのまま最後まで進めてください、そして時間通りに終了してください(編集には費用が発生するため)、とのことで、現場についてからさらに緊張しました。先に登板した関口教授は、当然のことながらピタッと定刻通りに基調講演を終えられました。第2部進行役の私は緊張マックスでしたが、とにかくここから前に進もうと自分

に言い聞かせて第2部の収録をスタートさせたのでした。

収録が終わったときは、登壇中うまくできなかったことばかり頭に浮かんでいましたが、ふと顔を見上げると、関口教授も小野寺副委員長もいつも以上に満面の笑顔で、その表情をみてホッとした気持ちになり、高い目標だったけれどもやってよかったと心の底から思いました。JICPAの正面玄関にて3人で記念撮影して会場を後にしました。

収録が済んだら終わり!ではなく、映像が仕上がってリリースまでの間に映像の最終チェックを行います。ちょうど仕事が忙しい時だったので本部事務局への報告までに時間がかかりましたが、本部での最終手続を経て、2020年12月25日クリスマスの日に晴れてリリースとなりました。

企画からリリースまで携わって、e-Learningが作り出されるのに、多くの方々の手を経てリリースに至ることをこの身をもって知りました、ここに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。このようにたくさんの汗と熱い思いで出来上がった近畿会ダイバーシティ推進委員会のe-Learning、一人でも多くの会員の皆様にご視聴いただければ幸いです。



収録終了後の3人の表情に注目!